

第63回 建築生産技術研究発表会を開催しました

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、第63回建築生産技術研究発表会を11月2日(木)に建築会館(東京都港区)にて開催しました。テレビ会議システムにて海外を含む各支店および営業所の会議室や作業所合わせて16地点を中継で結び、会場参加者407名、各中継地点での参加者386名、合わせて793名の社員が参加しました。

この発表会は、建築工事統轄部が主催し、本社各部署の新しい施策や、作業所で実施している品質や生産性の向上に向けた取り組みを、全国の作業所に水平展開することを目的として1954年から毎年開催しています。

発表会の冒頭、社長からは、「現在の変動が激しくて将来が見通しにくい状況の中で持続的成長を達成するためには、高い目標(ミッション)を掲げて、最新の技術、最適のツールをアセンブリし、最高の戦力を調達して駆使し続けることが必要である。『“喜び”を実現する企業グループ』として、考え続ける情熱を持って挑戦し続けてもらいたい。この発表会の技術情報は全作業所に展開し有効に活用してほしい」との話がありました。

発表会では、「新たな仕組みと、技術力の底上げ」、「新たな取組みの実践」、「多様な条件における施工」、「高度な設計・施工技術への挑戦」と題した4つのセッションで計19件のプレゼンテーションが行われました。

さらに、この1年間で生産性向上をはじめとする挑戦的な取り組みを実施した作業所を全国から選考して優秀作業所として発表(計23件)し、そのうち特に優れた9件が表彰を受けました。

また、発表会の前日となる11月1日(水)には、都内で現在施工中の「永坂産業京橋ビル」と、「慶應義塾図書館(旧館)改修工事」の2つの作業所、および本年6月に竣工した当社「筑波技術研究所環境技術実証棟」での見学会を開催して、合わせて75名が参加しました。先進の作業所や環境技術の実証施設を実際に自分の目で見ることで技術・ノウハウを体感できる貴重な機会になりました。



写真1 今井社長による挨拶



写真2 プレゼンテーションの様子